1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業・業界団体等との連携により、必要となる最新の知識・技術、技能を反映するため、企業業界関係団体等からの意見を十分生かし、カリキュラムの改善等の教育課程の編成を行う。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

上記方針に則り、学院長の下に教育課程編成委員会を置き、全学科の教科編成について、実務における重要事項が該当する学科のカリキュラムに反映されているかを確認する。指摘を受けた内容について、各学科にて詳細検討を行い、改善事項を学院長に報告する。学院長は教育課程編成委員会委員にその旨を伝達する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年5月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
徳田　昭彦	竜之介動物病院院長・九州動物学院学院長	2019年4月1日～2021年3月31日（2年）	
山田　進二	九州動物学院顧問	2019年4月1日～2021年3月31日（2年）	
本田　公三	九州動物学院副学院長	2019年4月1日～2021年3月31日（2年）	
今村　絵里花	ペット美容室ペリート代表	2019年4月1日～2021年3月31日（2年）	③
筌場　孝一	熊本県人吉保健所獣医師	2019年4月1日～2021年3月31日（2年）	①
前田　しのぶ	イノセントランド代表	2019年4月1日～2021年3月31日（2年）	③
合志　潤子	たかた動物病院看護師長	2019年4月1日～2021年3月31日（2年）	③
眞邉　哲也	あーす動物病院院長	2019年4月1日～2021年3月31日（2年）	③
山中　彩紗子	ドッグトレーニングacyaco代表	2019年4月1日～2021年3月31日（2年）	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等年間開催数及び開催時期

年2回　9月・3月開催

令和元年9月27日　14:00～15:00　済
令和2年4月3日　14:00～15:00　済

令和2年9月25日　14:00～15:00　済
令和3年3月19日　14:00～15:00（予定）

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
・動物看護師は獣医師と飼主との橋渡し役となことが重要な役目である。動物看護師が飼い主とコミュニケーションとおして動物への理解を深めてもらうため、グリーフケアについても知識の習得やコミュニケーションスキルを向上してほしい。
【意見対応状況】グリーフケアについては動物看護師統一認定試験科目でもある、医療コミュニケーションの中でも強化し、コミュニケーション能力を高めていきたい。
・愛玩動物看護師法の制定を受けどのような対応をするのか。
【意見対応状況】令和4年度入学生から3年制の受入れを考えており、そのためのスキームを準備する。
・愛玩動物看護師の国家試験において、既卒者の受験資格はどのようになるのか。
【意見対応状況】愛玩動物看護師法では不足を設けて、経過措置を規程し、従前のカリキュラムで卒業した者や教育を受けていない従事者に対する救済策を定めている。指定の過程の講習会を終了し、予備試験に合格した者は受験資格を得ることになる予定。
・就職をするということがどういうことか、意識が低いと思われる。
【意見対応状況】専門家を講師として招き特別講義などの時間を活用して意識向上を図りたい。

（別途、以下の資料を提出）

＊　教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程

＊　教育課程編成委員会等の規則

＊　教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由（推薦学科の専攻分野との関係等）※別紙様式３－１

＊　学校又は法人の組織図

＊　教育課程編成委員会等の開催記録

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習・演習等は専門学校の根幹なす重要なものである。よって常に最新の技術を指導する必要があり、そのため企業と密接に連携した体制を築き、より実践的な職業教育となるように努める。連携を行う企業とは、職業実践教育協定書（講師契約書）を取り交わし、契約の趣旨に則り実践的な職業教育を行うものとする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

上記基本方針に則り、次の項目について連携を行う。
①カリキュラムの作成　②講義及び実習の実施　③講義・実習教材の作成　④成績評価及び進級審議等に関する助言　⑤その他の実習運営上に必要となる事項

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
動物外科看護学実習	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術中から術中補助、術議管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識と技術を修得する。	竜之介動物病院
動物臨床検査学実習	生体より得られる血液・糞便・尿・細胞等を用いた検査から生体に起こる変化を検出し、診断へと導く意義や検体の扱いについて理解する。X線検査、超音波検査、心電図検査、内視鏡検査、CT検査と特徴と検査に係る基本事項について理解する。	竜之介動物病院
動物臨床内科学実習	チーム獣医療の中で動物看護師がどのような視点で看護を行うべきか症状別の看護のポイントを学ぶ。症状別・臓器看護に加え、生理学を振り返りながら疾病動物にどのような障害が起きているのかアセスメントにつなげる。	竜之介動物病院
トリミング実習	診療現場で必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身につけ、グルーミングが与える動物への効果を学び、様々な犬種、猫種や状態に応じた技術と皮膚被毛の状態から知りえる(健康状態まで理解する。	ペットサロンペリート
動物園実習	動物園の概要から、様々な飼育管理法、環境エンリッチメント、ハズバンダリートレーニングなどを実際に体験し、その重要性を認識し、動物園における飼育員の役割を学ぶ。	熊本市動植物園

（別途、以下の資料を提出）

＊　企業等との連携に関する協定書等や講師契約書（本人の同意書及び企業等の承諾書）等

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
1教員等の研修に関する規定により本学院の教育職にあるものは、各自が担当する授業の分野に応じ、企業との連携の上で、高度化多様化する理論及び新技術の等について研修に努めなければならない。
学院長は、教育職にある者に対し、教員の業務の経験や能力を勘案し、日常の業務を通じて必要な研修を命令する。また、事前に計画し学院長に承認を得たものは企業と連携した研修を認めている。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「動物愛護行政について」（連携企業等：熊本市動物愛護センター）
期間：令和元年6月5日（水）　対象：井上竜一、橋本沙耶、後藤翔太
内容：熊本市の動物の保護、譲渡、処分等の状況について

研修名「観光牧場の運営について」（連携企業等：阿蘇ミルク牧場）
期間：令和元年6月5日（水） 対象：井上竜一、橋本沙耶、後藤翔太
内容：阿蘇ミルク牧場の運営状況

研修名「警察犬訓練大会」（連携企業等：松尾愛犬訓練学校）
期間：令和2年3月29日（日） 対象：西島信彦
内容：警察犬訓練指導法の実際を競技会をとおして学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「愛玩動物看護師法立法について」（連携企業等：全国動物教育協会）
期間：令和元年7月1日（月） 対象：本田公三
内容：愛玩動物看護師法の成立に伴う今後のスケジュールについて

研修名「令和元年度日本学生支援機構業務研修会」（連携企業等：日本学生支援機構）
期間：令和元年10月9日（水） 対象：後藤幸三
内容：奨学金事務に関する業務研修会

研修名「熊本専各連推進委員会」（連携企業等：熊本県専修学校各種学校協会）
期間：令和元年10月30日（水） 対象：本田公三
内容：広報、研修、高専連携に関する協議について

研修名「熊本専各連推進委員会」（連携企業等：熊本県専修学校各種学校協会）
期間：令和元年12月20日（金） 対象：西島信彦
内容：広報、研修、高専連携に関する協議について

研修名「愛玩動物看護師法に関わる意見交換会」（連携企業等：全国動物教育協会）
期間：令和2年2月18日（火） 対象：本田公三
内容：愛玩動物看護師法に係る今後想定される課題等について

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「熊本県の動物愛護行政について」（連携企業等：熊本県動物愛護センター）
期間：令和2年8月24日（月） 対象：井上竜一、橋本沙耶、後藤翔太
内容：熊本県の動物の保護、譲渡、処分等の状況について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「愛玩動物看護師カリキュラム等検討会」（連携企業等：環境省、農水省、全国動物教育協会、動物看護師統一認定協会）
期間：令和2年8月24日（月） 対象：本田公三
内容：愛玩動物看護師カリキュラム、養成所指定の要件等の協議

（別途、以下の資料を提出）

＊ 研修等に係る諸規程

＊ 研修等の実績（推薦年度の前年度における実績）

＊ 研修等の計画（推薦年度における計画）

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、九州動物学院関係者評価会議設置要綱に則り、自己点検評価を実施する。
実践的な職業的教育を目的とした、自らの教育活動その他学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価を行うことが目的となる。また、卒業生業界団体の学校関係者を選任し、自己評価結果についての改善に向けた専門的な助言を受け、組織的、継続的な改善を図る。

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	学院基本情報、学院沿革、教育理念、教育方針等
（2）学校運営	各学科の定員及び修業年数、カリキュラム、取得可能な資格、卒業後進路
（3）教育活動	教職員数、教職員の組織、教員の専門性
（4）学修成果	キャリア教育への取組状況、企業と連携した実習・演習、インターンシップ等
（5）学生支援	学校行事の取組、様々なボランティア活動

(6)教育環境	学生支援の取組状況
(7)学生の受入れ募集	学生納付金、活用できる経済的支援措置の内容等
(8)財務	財務諸表
(9)法令等の遵守	自己点検評価・学校間者評価の結果
(10)社会貢献・地域貢献	学院が用意する各種ボランティア活動
(11)国際交流	海外研修における現地大学・専門学校との交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

①教育目標・人材育成像が分かる工夫【意見対応状況】教育目標を学生が毎日登校を記入する受付前に貼りだして目にするように工夫した
②校務分掌の明確化が必要ではないか【意見対応状況】詳細な事務分掌と正と副担当を明確にした
③進級、卒業の判定基準が必要【意見対応状況】基準を明確化して示した
④教育経験者を入れたらどうか【意見対応状況】令和2年度採用し副担任とした
⑤保護者への関わりを増やしたらどうか【意見対応状況】学院活動等を紹介した「九動通信」を活用する
⑥顕微鏡の不足【意見対応状況】令和2年度5台導入
⑦学生募集を強化してほしい【意見対応状況】学校訪問を学院の特色丁寧にした結果、志願者増
⑧財務状況の改善【意見対応状況】飼育動物の飼料、事務用品等を在庫確認し計画的に発注するなどして支出の無駄を省き改善した
⑨地域との連携は【意見対応状況】学生職員も参加する動物愛護団体を積極的に活用する
⑩野良猫不妊キャンペーンは評価【意見対応状況】地域の企業とも連携し、望まれない命を増やさないキャンペーンの趣旨を理解し組織的な野良猫の情報共有や活動への参加を積極的に進めている
⑪国際交流については海外研修の中で動物関連施設との交流を深めたい

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2020年９月１日現在

名　前	所　　属	任期	種別
藤井　琢磨	熊本県獣医師会副会長 総合動物病院デーリー院長	2018年9月30日～2020年9月29日（2年）	業界団体
芝田　猛	東海大学名誉教授	2018年9月30日～2020年9月29日（2年）	専門家
本田　敏裕	熊本県獣医師会菊池支部幹事 アニマル動物病院院長	2019年4月　1日～2021年3月31日（2年）	企業・専門家
松尾　正直	九州訓練士会 常任幹事 松尾愛犬訓練学校校長	2018年9月30日～2020年9月29日（2年）	業界団体
井上　竜一	九州動物学院同窓会幹事	2019年4月　1日～2021年3月31日（2年）	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL　https://kyudo.ac.jp/

公表時期：令和2年5月（令和元年度版）　令和2年10月末予定（令和2年度版）

（別途、以下の資料を提出）

＊　学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書（推薦学科の専攻分野との関係等）※別紙様式３－２

＊　自己評価結果公開資料

＊　学校関係者評価結果公開資料（自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書）

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学院ホームページ等において積極的に公開しているが、学校行事等に関してはフェイスブックにて適宜情報公開を行っている。特に関連する企業及び外部講師に対しては年2回の会議を開催し、その際、学院長から学院概要・運営方針等を説明し実務教育及び教員研修における連携依頼や学生の就職研修先の紹介依頼等様々な教育活動の情報公開を行う。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学院基本情報、学院沿革、教育理念、教育方針、学校概要等
（2）各学科等の教育	各学科の定員及び修業年数、カリキュラム、取得可能な資格、卒業後進路
（3）教職員	教職員数、教職員の組織、教員の専門性
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、企業と連携した実習・演習、インターンシップ等
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事の取組、様々なボランティア活動
（6）学生の生活支援	資格取得支援、就職支援等
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金、奨学金制度、学費分納に関すること
（8）学校の財務	財務諸表、監査報告書
（9）学校評価	自己点検評価公表。学校関係者評価公表
（10）国際連携の状況	海外研修における現地大学・専門学校との交流
（11）その他	学校運営に関するその他の情報

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

ホームページ　・　広報誌等の刊行物

URL https://kyudo.ac.jp